



はんだ 市議会だより



総務委員会



文教厚生委員会



建設産業委員会

- 一般質問10人が市政を問う! P.2~5
- 5月臨時会審議結果 P.6~7
- 6月定例会審議結果 P.8
- 各委員会の年間調査テーマ P.9
- 半田市議会会派の紹介 P.10
- 議員勉強会報告



市政を問う

一般質問

6月定例会における市政に関する一般質問は、6月9日、10日、11日に行われ、10人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は、9月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYoutubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



創造みらい半田 伊藤正興

小中学校における新型コロナウイルス感染症の対応

問 全国の小中学校で様々な学習スタイルが模索されました。半田市として、この状況をどのように考えますか。

答 現段階では、各家庭のインターネット環境の状況から、オンラインによる授業や学習は難しいと考えます。しかし、ICT機器を活用することができれば、児童生徒には、より効果的な学びを提供できます。まずは、GIGAスクール構想による、一人一台のタブレットと学校のネットワーク環境を整備し、さらに、オンライン学習等の実現に向け検討していきます。

問 新型コロナウイルス感染症に対する心のケアが必要な児童生徒に対しては、どのように対応しますか。

答 児童生徒は、様々な悩みや不安を感じていることが予想されるため、学校再開後、速やかにアンケートを実施しま

市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)

した。得られた情報を基に担任やスクールカウンセラーとの面談を行い、児童生徒の思いに寄り添った対応を行っています。さらに、保護者にも相談窓口の連絡先を周知し、不安を取り除けるようにしていきます。

問 長期の臨時休業に伴い、不足した授業や学校行事等の時間を確保するために、土曜日授業や冬休み・春休みの短縮を提案しますが見解を伺います。

答 夏休みの期間を2週間程度に短縮することや学習活動の見直しをすることで、本年度に必要な授業時間を確保することが出来ます。今年度の小中学校の修学旅行と野外教育活動は、時期をずらして実施し、可能な限り、体験活動の機会を確保します。その他の学校行事は、意義や目的を改めて考え、見直しや選択をして実施します。今後、感染拡大等により、さらなる臨時休業を行わなければならない状況となれば、土曜日授業や冬休み・春休みの短縮を検討する必要がありますが、現段階では、行う予定はありません。



公明党 山田清一

避難所の感染症対策

問 避難所の増設やホテル等を活用した分散避難体制の構築は、どのように取組めますか。

答 学校の教室も避難所として利用できるよう調整し、民間施設である市内10か所のホテルにも拡充に向け調整します。

問 市民の皆さんへ、親戚や友人の家等への避難を検討していただくことについての周知が必要ですが、どのように取組みますか。

答 ハザードマップ等が安全なのかを確認いただく中で、「安全な場所にいる人まで避難所へ行く必要がないこと」を市報やホームページ等で周知し、親戚や友人の家など「避難所以外の安全な場所への避難」もお願いします。

問 非常用持ち出し袋等に備蓄する等、自助の向上の啓発強化が必要ですが、どのように推進していきますか。

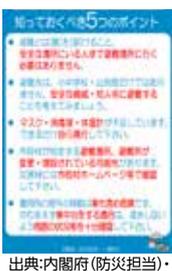
答 避難の際には、食料や水などの非常持ち出し品に加え、感染症に有効なマスク、消毒液、体温計といったものは、事前に用意していただくようお願いいたします。

問 感染症と自然災害の複合災害に備える防災訓練が必要ですが、どのように取組みますか。

答 市内感染者が確認されている状況を想定した、新たな避難所内の配置設定や資機材利用等を加えた訓練を早期に実施し、検証と改善を行い対応力を高めていきます。

問 感染症と自然災害の複合災害に備えた地域防災計画及び避難所運営マニュアルの見直し等、どのように考えますか。

答 半田市地域防災計画は、今回の新型コロナウイルスは、今回の新型コロナウイルス感染症を踏まえた防疫・保健衛生対策の修正をします。避難所運営も、避難者の体調管理を始め、体調不良者は別の部屋への避難等、対応をマニュアル化します。



出典:内閣府(防災担当)・消防庁





創造みらい半田 鈴木幸彦

半田市職員の能力を市民のために

問 仕事上のミスや事故を減らすため、起り得るミスや事故の可能性を予測し、事前に予防して組織的に注意喚起する内部統制は庁舎内でどこまで浸透していますか。

答 部内、課内において所属長から注意喚起していますし、内部統制を明確に図式化することで、職員末端まで浸透しています。

問 公用車による交通事故が議会に報告されますが、過去3年間の件数はどのようですか。

答 過失割合5割以上の交通事故は、平成29年0件、平成30年3件、令和元年は4件です。

問 十分に内部統制が機能していると言われますが、事故件数は年々増加しています。半田市の名を背負った公用車が、不注意が原因での事故では、市民の信用が失われるのではないですか。

答 一部の職員の不注意による過失は、頑

張っている全職員にも影響します。今後は内部統制を強化し、職員の責任意識をさらに高めるよう気を引き締めたいと思います。

問 快適な職場環境を整えることは仕事の効率アップにもつながります。姫路市では、夏場の空調設定温度を下げたことで職員のやる気と効率向上し、結果として残業代が削減され大きな費用対効果があったという事例があります。半田市でも挑戦してみる気はありますか。

答 不快を感じたらエアコンを稼働させる対応をしております。事例は承知しておりますが、庁舎の状況も違いますが、まだ検証も必要ですので、今すぐ同様の取組みをする予定はありません。しかし、市民サービスの観点から、来庁された市民の方が不快にならないよう、柔軟性を持ってエアコンを活用します。快適な職場環境をつくることは、結果よい仕事に、また市民サービスにもつながると思います。つまりないミスや事故を減らすことは、市民からの信用に直結します。信頼される半田市役所になるよう、徹底していきます。

問 今後30年以内に70〜80%の確率で発生するとされている南海トラフ地震に備えて、被災した市民を一人も取り残さなく救護・支援していくためには、「被災者台帳」が必要となりますが、現状、どのようなフローで準備することになっていきますか。

答 「被災者支援システム」を導入することによって、「被災者台帳」を整備します。12月末のシステム完成、運用を目指して準備を進めています。

問 半田市が導入する「被災者支援システム」の支援内容は何か。

答 罹災証明の発行、義援金等の支給、仮設住宅の入居、公費解体応急修理の4項目です。



公明党 坂井美穂

一人も取り残さない被災者支援

問 今後30年以内に70〜80%の確率で発生するとされている南海トラフ地震に備えて、被災した市民を一人も取り残さなく救護・支援していくためには、「被災者台帳」が必要となりますが、現状、どのようなフローで準備することになっていきますか。

答 「被災者支援システム」を導入することによって、「被災者台帳」を整備します。12月末のシステム完成、運用を目指して準備を進めています。

問 半田市が導入する「被災者支援システム」の支援内容は何か。

答 罹災証明の発行、義援金等の支給、仮設住宅の入居、公費解体応急修理の4項目です。

問 避難行動要支援者名簿に掲載される方の支援を速やかに行うために、情報をあらかじめ登録することはできますか。

答 支援内容は4項目に限り、システムに取り込むことはできません。新の対象者名簿を避難所の自治会や民生委員等の支援者へ届けると思いますが、その手順は担当者間で共有されていますか。

答 激甚災害発生後、地域の支援者に対して対象者名簿をお渡しする手順は決まっておらず、大きな課題だと認識しています。今後、激甚災害を想定し、適切に進めていきたいと思っています。

問 「被災者支援システム」の操作訓練を定期的に実施すること、一人も取り残さない救護・支援活動および生活再建支援の体制を整えておくべきであると思いますが、いかがですか。

答 業務毎に定期的な訓練を実施することで、操作技能の向上を図るとともに、年に一度実施している総合防災訓練等で、データを連携させながら操作するなど、システムが有効に運用されるよう検証します。



問 市内の民間医療機関と協力体制を整えるべきと考えますが、いかがですか。



無所属 鈴木健一

新型コロナウイルス感染症対策

問 半田市では、現在どこでPCR検査を受けられますか。

答 現在、半田病院が検体採取の指定を県から受けています。自覚症状が無く、知らない間に感染している場合もあるので、市民は大きな不安を感じていると思います。その不安を取り除くために半田市として、何をしておくつもりですか。

答 市民の方に自らの健康観察をしっかりとっていただいて、体調の変化がある場合は保健所へ連絡をしていただくことをしっかりとPRしていきたいと考えています。

問 第2波に対する市の対策について、どのように考えていますか。

答 政府から示されている新しい生活様式の実践を市のホームページ等で市民へ呼びかけていきます。

答 簡易な検査方法が確立されるなど、広く検査が実施可能となれば、必要な対応をおこなっていきます。

問 地方創生臨時交付金の使い道はどのようなですか。

答 交付額の上限は約2億3000万円です。中小企業に対する休業協力金や水道基本料金を6ヶ月減額する事業に充てます。

問 学校休業による学習の遅れに対する支援を行うべきと考えますが、どうですか。

答 夏休みの期間を短縮することで必要な授業時間を確保すると共に、学習内容の定着を確認した上で必要な対策を講じて学力の向上を目指します。

問 30億円ある財政調整基金に加え、コロナウイルスの影響で実施しない事業費などを感染症対策に充てるべきではありませんか。

答 財政調整基金の取り崩しに加え、実施を取りやめた事業については今後減額計上し、支援策など各種施策を実施するための財源として活用していきます。





維新・半田市民の会
加藤美幸

使用済み紙おむつの 保育園での処分へ改 善検討を

問 公立保育園、こども園での使用済み紙おむつの処分の現状はどのようですか。

答 トイレなどに園児ごとのバケツを置き、ふたをして保管し、お迎えの時、保護者にお持ち帰ってもらっています。

問 民間保育園や他市の公立保育園では、臭気や衛生面などの問題と保育従事者・保護者双方への負担軽減のため、保育園での回収処分が広がっています。現在、半田市が保護者に持ち帰らせる理由は何ですか。

答 使用済み紙おむつをもち帰ることは、子どもの健康状態や発達状態について家庭と連携するための貴重な機会です。トイレトレーニングの進み具合や便の様子、体調の変化等、おむつをきっかけに子どもの様子を保護者に伝えることができず、「子どもの状況や発達過程をふまえた環境を通して養護と教育を一体

的に行く」という、半田市の保育理念に沿った対応です。

問 持ち帰ったおむつの中身を確認したことは一度も無いとの声も多く聞かれる中、感染症予防、保育従事者の負担軽減、仕事と子育てを両立する保護者の負担軽減の支援として、使用済み紙おむつの持ち帰りをやめ、園での回収と処分をすべきと考えますが、市の見解はどうですか。

答 当面は持ち帰りの方向ですが、他市町での処理の方法も参考に検討します。園長会議などで、おむつの持ち帰りや感染症対策について考える機会を持ちます。使用済み紙おむつの保管方法・場所など、新型コロナウイルス・ウイルス感染症のこともあり、さらに改善する必要もあります。いかに小さなお子さんの安心安全を保てるか十分に検討していきます。



園児ごとのおむつ入れバケツ



維新・半田市民の会
竹内功治

新型コロナウイルス 感染症における小中 学校の取組み

問 児童生徒の授業の遅れや学力向上、受験対策などどのように取組みますか。

答 夏休みを短縮して必要な授業時間を確保し、学習時間の見直しや重点化の工夫、ICT機器を活用した授業の効率化等の取組みをします。

問 大府市や県立高校ではパソコンやスマードフォンのアプリで宿題を配信するようですが、同じ取組みをしませんか。

答 今回のところ、考えていません。中止になった全国学力テストの問題冊子は自治体へ配布され、活用を考えています。各学校の判断で活用を考えています。給食費の減額や無償化など、児童生徒の家庭が負担軽減できる取組みを考えています。現状では生活に困難を感ずられている世帯の支援のみを考えています。

問 マスクを着用して登下校する児童生徒の熱中症への心配がありますが、クールタオルやサンシェードの着用、日傘をさし距離を開けてマスクを外すなど、何か取組みを考えていますか。

答 登下校時、児童生徒間を2m以上開ければマスクを外すことは可能と指示をしました。クールタオルなどの取組みも行えるようにします。

問 中学生は7月から9月まで制服でなく体操服などの通学を許可しましたが、感染症対策まで考える時期限定にする必要がありませんか。

答 各学校と相談して前に向きに考えます。今後の教職員の感染防止のためのオンラインを活用しての職員会議が必要と考えますが、どう取組んでいきますか。

問 ある一部の会議で今後の実践も兼ねて実施しました。これからはオンラインの会議の実施を充実させていきますか。



維新・半田市民の会
中川健一

保護者と児童の切実な思いに 応えられない教育委員会

問 先生に相談をしたい保護者、先生に会いたい児童もいる中、自宅学習の児童に対し、1回から2回、事前にアポも取らずに、いわば資料を届けるだけの家庭訪問をしました。意味が無い事業であったと思いますが、見解を伺います。

答 そう言った部分はあったと思います。そう言った声があるのでしたら、次回の反省にしたいと思います。

問 ICT化していただくも、電話で児童や保護者と意思疎通をはかることができたはずですが、愛知工業大学の中嶋哲彦教授も電話を推奨していました。やらなかった理由を教えてください。

答 4月8日から5月末まで、家庭訪問や分散登校を1週間に1回は行うことができました。従って特別な場合を除き、電話でのやりとりの指示はしておりません。

問 もう一つの対策として、三密を避けるために、一クラス10人程度の少人数による分散登校を増やすという方法もありました。半田市でやらなかった理由は何ですか。

答 愛知県教育委員会は分散登校はやらないという方針を出していましたが、南知多のように感染者が出ず、少人数のところは週に1、2回の分散登校をしたとのことですが、半田市では出来ないと判断をしました。

問 自主登校教室で、小学1年生が6時間も自習することは困難です。コロナ第2波時には、児童の質問に答えるなど学童保育所と同じように教えることをすべきと考えますが所見を伺います。

答 自主登校教室はあくまでも児童の居場所作りです。仮に多くの児童が来るとなると趣旨が本末転倒になります。

問 自主登校教室で教えられるのでないであれば、刈谷市や東海市のように、低学年は最初から学童保育所で面倒をみるような制度設計をコロナ第2波までに行うべきと考えますが、見解を伺います。





創造みらい半田 水野尚美

外国籍の方に対する支援

問 新型コロナウイルス感染症に対する支援について、外国籍市民が必要とする情報をどのように伝え、どのような手段で、生活上の困りごとを把握しましたか。

答 情報については、市のホームページに掲載、又は、その他国際交流協会などの協力を得て伝えました。困りごとについては、インターネットを活用したアンケート調査、又は、市の生活支援課や、半田市社会福祉協議会、市民活動団体などからの情報により、失職や収入の減少など、生活困窮に至っている状況を把握しています。

問 特別定額給付金などの申請について、どのような支援をされていますか。

答 多くの外国籍市民が暮らす集合住宅に掲示したり、半田商工会議所のホームページやメールマガジンにより、雇用主から申請を勧めていただきました。又、特別定額給付金の窓口では13ヶ国語に対応可能なテレビ電話通訳を活用して説明をしています。



創造みらい半田 久世孝宏

新型コロナウイルス感染症対策の理由・方針の説明を

問 様々な対策について多くの市民の方にご理解をいただくために、半田市を取り巻く状況や疫学的知見など、様々な情報をどのように分析し、種々の判断基準の中で、特に何を優先したのか、優先をしなかったこととどのように配慮をしたのか等、対策を決めた理由と、状況がどのように変わったらどう対応をするのかその方針について十分に説明をすべきと考えますがどうですか。

答 理由や方針について市民の皆様に分かり易くお伝えしていきます。

問 コロナ禍により、生活様式や人の価値観が大きく変わろうとしている中、総合計画策定のデータとするために昨年実施した市民アンケート調査の結果やまちづくり市民会議の意見は変わる

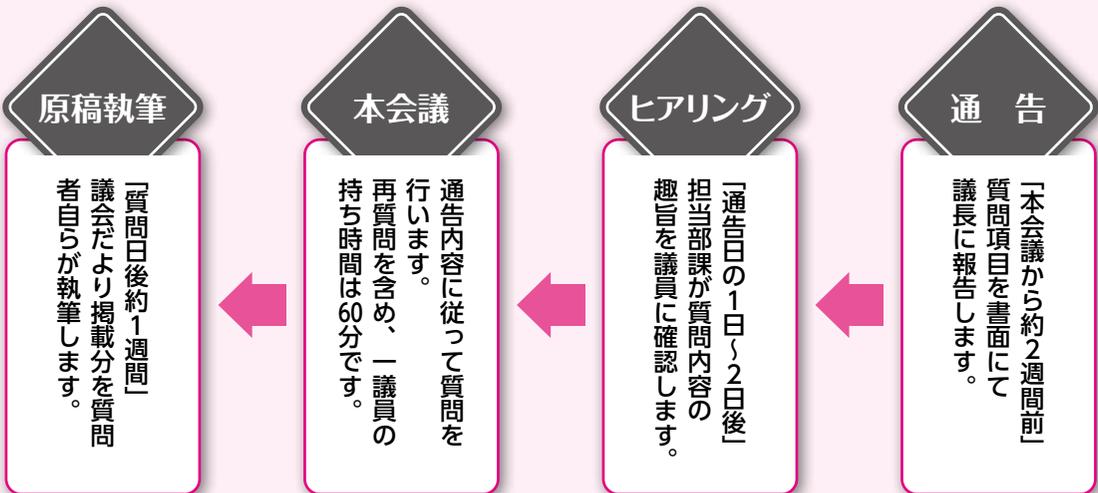
かもしれません。このまま最上位計画を策定すべきではなく、第7次総合計画の策定期限を1年遅らせてはどうですか。

答 まちづくり市民会議や市民アンケート調査は今後10年間のまちづくりの方向性を展望するための参考とさせていただくために実施しており、コロナ禍の影響は有り得るものの、その方向性が大きく変わるものではないと考えています。コロナ禍への対応は、中長期的な視点で第7次総合計画を策定し、現時点では予定通り令和3年4月から新たな総合計画をスタートします。

問 メリット・デメリットをしっかりと整理した上で、このまま続けるべきか、まちづくり市民会議や総合計画審議会のみなさまに伺ってはとうですか。

答 このまま行うのか、あるいはアフターコロナのことを考え、新しい形の基本構想を作るべきとの意見があれば、そうすることも必要だと思います。時間的なことも含めて、考えます。

一般質問 (原稿執筆までの流れ)



市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)

審議結果 令和2年第4回臨時会(5月28日)

() 内は議案の補足説明です。

■全会一致の案件

議案番号等	議案名
議案44	令和2年度半田市一般会計補正予算第5号(災害時における感染予防のため、指定避難所等に非接触型体温計を整備・住居確保給付金の支援対象の拡大、民間保育園などの新型コロナウイルス感染症対策に係る物品等の購入補助についてなど)



鈴木健一議員
 住居確保給付金の増額は生活困窮者自立支援法の制度改正に伴う要件の緩和がされるものです。半田市において、4月だけで29件の申請があり、いま市民がいかに困っているかが表れています。貸し付けでなく、給付する制度というところが賛成するポイントです。

賛成討論
 議案44号に賛成

審議結果 令和2年第5回定例会(6月9日~6月19日)

() 内は議案の補足説明です。

■全会一致の案件

議案番号等	議案名	議案番号等	議案名
議案46	令和2年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号(新型コロナウイルス感染症の影響で収入が一定程度減少した世帯の保険料を減額するもの)	議案47	令和2年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第1号(新型コロナウイルス感染症の影響で収入が一定程度減少した世帯の保険料を減額するもの)
議案48	令和2年度半田市立半田病院事業会計補正予算第1号(新型コロナウイルス感染症対応に必要なマスク、手袋、ゴーグル、折り畳み式簡易ベッドを購入するもの)	議案49	令和2年度半田市水道事業会計補正予算第2号(亀崎高根配水池敷地を約5,400万円で売却など)
議案50	半田市特別職員の給与の特例に関する条例の制定について(令和2年7月1日から9ヶ月間、月額給料を市長10%、副市長5%、教育長3%をそれぞれ減額し支給する条例の制定)	議案51	半田市市税条例等の一部改正について(「地方税法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、市税条例及び都市計画条例の一部を改正)
議案52	半田市放課後児童クラブ施設設置条例の一部改正について(成岩小学校に新しく設置された放課後児童クラブ施設を加える)	議案54	半田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について(非常勤消防団員等に係る政令の改正に伴い、「消防団員等公務災害補償条例」の一部を改正)
議案55	半田市農業委員会の委員の任命に当たって認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しないことについて(認定農業者等の確保が困難であることから、規定に基づき4分1以上と緩和する内容に同意を求めるもの)	議案56	半田市農業委員会の委員の任命について(7月19日をもって任期満了となる為、11名を任命するもの)
議員提出3	特別委員会の設置について		

■その他の案件

議案番号等	議案名	議案番号等	議案名
報告4	専決処分の報告について(公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)	報告5	半田市土地開発公社の経営状況について
報告6	令和元年度半田市一般会計事故繰越しの繰越しについて	報告7	令和元年度半田市一般会計繰越明許費の繰越しについて
報告8	令和元年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて	報告9	令和元年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告10	令和元年度半田市下水道事業会計継続費の繰越しについて		特別委員会委員の選任について

賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田										公明党	維新・半田市民の会	志民ネット	自民クラブ	無所属	議決結果										
		沢田清	芳金秀展	水野尚美	鈴木幸彦	伊藤正興	澤田勝	岩田玲子	渡辺昭司	久世孝宏	石川英之							榑原伸行	山田清一	坂井美穂	山本半治	加藤美幸	中川健一	竹内功治	小出義仁	小栗佳仁	新美保博
議案45	令和2年度半田市一般会計補正予算第6号(消防団活性化のため、ホイッスルライトを整備・児童生徒に一人1台タブレット配備を令和5年度から令和2年度に前倒しする・担い手支援としてトラクターの購入補助金など)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決	
議案53	半田市高度先端産業立地促進条例の一部改正について(新規雇用者の範囲を正社員から契約社員などへも拡大)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出1	半田市議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について(コロナ禍の非常時に、各議員がそれぞれの思いを込めて「何かをやらなくてはならない」との考えから、議員報酬を来年3月まで3%、削減するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出2	令和2年度に交付する政務活動費の限度額の特例に関する条例の制定について(コロナ禍の非常時に、各議員のそれぞれの思いを込めて「何かをやらなくてはならない」との考えから、今年度分の政務活動費の支給額の上限を、15万円から5万円に削減するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案57	令和2年度半田市一般会計補正予算第7号(新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変したひとり親世帯へ支援するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(表の見方)議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

討 論

議案45号に反対/議員提出議案1号に賛成

鈴木健一議員
議案第45号に対し反対です。現状でも忙しい教職員にコロナ対策として、消毒などの業務をして貰っています。その上に、業務を増やす事になる予算には賛成できません。議員提出議案第1号に対し賛成です。内容には同意ですが市民に対する人気取りに終わらないように、しっかりとコロナ対策に使うことを求めます。

議員提出議案1・2号に賛成

坂井美穂議員
新型コロナウイルスの影響による窮状を市民と共に乗り越える役割と責任は重大であると考えています。そこで、経済的に困難な生活を強いられる市民や事業者の皆様に寄り添い、削減により生じた予算を半田市における感染拡大防止対策など市民のために活用してもらおう、議員提出議案第1号及び第2号に賛成

議員提出議案1・2号に反対

中川健一議員
私たち議員の年収は780万円ですが、その2%わずか16万円を削減することで市民に寄り添うことができると議員自らが自作自演で金額を決めること自体がお手盛り批判を免れません。ある市民は国会議員と同様に20%削減すべきとの意見でした。第3者機関である半田市特別報酬審議会で市民の声を伺いながら削減額を決めていただくのが適切です。

議員提出議案1・2号に賛成

石川英之議員
中川議員の反対討論では、合計50万円の削減は「せこい」とのことでした。元々議員報酬及び政務活動費の削減に対し、自民クラブは「削減するつもりはない」維新・半田市市民の会は「今は削減するつもりはない」とのことです、そのような会派に「せこい」と言われる筋合いは全くなく、対案も出さずに反対をされる

これは理解ができません。議案57号に反対

加藤美幸議員
この議案には民生費と議会費が含まれており、そのうち「低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業」の民生費については賛成ですが、議会費については、議員報酬と政務活動費の特例に関わる条例に反対の立場であることから反対です。よって議案第57号には反対です。

議案57号に賛成

久世孝宏議員
多数決によって一度決まれば、反対者も決まったことがより良くなるように一丸となって取り組んでいただければ、より良いものになります。議員報酬、政務活動費削減をする条例の制定で反対をされた議員も、実際に予算に反映する本議案ではぜひ賛成をいただき、コロナ禍に一丸となって対峙していけたらと思います。ご賛同をお願いします。

令和2年度 各委員会の年間調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行っています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

総務委員会

新しい市民協働のあり方について

半田市では第6次総合計画（平成23年～令和2年）で「次代へつなぐ市民協働都市・はんだ」を掲げ、平成24年3月に「半田市市民協働推進計画（みんなでいっしょに大作戦）」を策定し、その推進に努めてきました。計画期間の最終年度を迎え、進捗状況や課題の有無など、現状を検証するとともに、10年間で生じた社会環境の変化に合わせ、目指すべき方向性や手法を見直す時期がきていると考えます。

このような現状を踏まえ、市民と半田市が一緒に取り組んできた「協働」が、今まで以上に市民から理解と協力を得て、さらに推進されるよう新しい市民協働のあり方について、調査研究を行っていきます。

文教厚生委員会

GIGAスクールの推進について

当委員会の閉会中の調査テーマは「GIGAスクールの推進について」オンライン家庭学習の環境整備について」としました。

「GIGAスクール構想」とは、昨年12月に国が示した多様な子どもたち誰一人取り残すことなく、創造性を育むという目的のため、児童生徒一人1台の情報端末の配備と、学校内のネットワーク環境整備を行うもので、半田市においても令和5年を目途に計画を進めていきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国はGIGAスクール構想の早期実現を表明し、半田市も当初の計画を前倒しすることを決めました。これを受け、当委員会では、児童生徒の学習の機会を保障するために、オンラインでの家庭学習ができる環境整備を進めるべく調査研究を行っていきます。

建設産業委員会

JR半田駅前の賑わいのある街づくりについて

JR武豊線の半田駅付近は、令和8年度に高架化され、その後、現在の線路や施設等の撤去を行い、令和9年度に整備事業の完了を予定しています。新しい半田駅に生まれ変わるこのタイミングに、駅周辺の賑わいを創出し、市民の皆様が利用しなくなる魅力ある場所にしていきたいと思えます。

そのためには、半田ならではの公園、駅前広場の整備や高架下の有効活用が不可欠です。

市民にとって利便性が高く、賑やかな半田駅前にするために、どのようなことができるのか、その方法や手段を探り、これからの半田市の活性化と新たな駅前づくりのために調査研究を行っていきます。

広域行政調査特別委員会

広域行政と合併のメリット・デメリットについて調査研究していきます。

委員長 中川 健一
副委員長 榊原 伸行
委員 新美 保博

伊藤 正興
山田 清一
坂井 美穂
加藤 美幸
久世 孝宏
石川 英之

南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会

児童文学の聖地を目指して、南吉を活かしたまちづくりについて、調査研究していきます。

委員長 小出 義一
副委員長 鈴木 健一
委員 嶋崎 昌弘

芳金 秀展
水野 尚美
鈴木 幸彦
山本 半治
竹内 功治
岩田 玲子
渡辺 昭司

半田市議会 会派の紹介

会派とは…

共通した考えを持ったものが集結し、
活動する議会内団体です。

半田市議会基本条例の中で議員は議会活動を行うため、会派を結成することができると定めています。

会派は政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成し、議長や市長に政策の立案及び政策の提言をすることができます。

会派は、議会運営、政策立案等に関し、積極的に会派間で調整を行い、合意形成に努めています。



創造みらい半田

代表／久世孝宏 11名



維新・半田市民の会

代表／中川健一 3名



公明党

代表／山田清一 3名



自民クラブ

代表／新美保博 2名



志民ネット

代表／小栗佳仁 2名



無所属

半田市議会 議員勉強会を開催しました!

議会で共通のテーマを設け講師をお招きして勉強会を開催しています。

- 日時/令和2年6月17日(水) 午後3時~
- 場所/全員協議会室
- 講師/名古屋保護観察所 所長 原沢 和茂 氏
- 内容/保護司・保護司会の使命役割について
更生保護・再犯防止について



議会報告会を開催します!

- 日時/令和2年10月6日(火) 午後7時~午後8時30分
- 場所/アイプラザ半田 小ホール
- 内容/決算議案の概要、結果報告及び一般質問の概略、意見交換等



※新型コロナウイルス感染症の影響により中止する場合があります。開催の可否については、1週間前に決定しますので、半田市議会までお問合せいただくか、市ホームページにてご確認ください。
 ※当日は、ご参加いただく方の名簿の記帳やマスク着用をお願いなど、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施いたしますので承知ください。

Qイズ!GIKAIへGO!!の開催中止について

例年、市内中学生を対象に行われていましたクイズ大会「Qイズ!GIKAIへGO!!」は、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。



今後の本会議の予定

9月定例会の予定 9月1日(火)から9月30日(水)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

あとがき

コロナ禍により、生活にかかせないマスク。表紙の議員マスク着用写真は、議会だよりにより記録として残します。

市民の皆様により、「読んで頂ける誌面」づくりをめざして、広報委員が一丸となり議会情報を、お届けします。

ご要望、ご意見等を、お待ちしております。

広報委員会

- 委員長 山本 半治
- 副委員長 嶋崎 昌弘
- 委員 小出 義一/水野 尚美
- 鈴木 幸彦/中川 健一
- 榊原 伸行

編集・発行 半田市議会

- 〒475-8666
- 半田市東洋町2-1
- TEL 0569-84-0694
- FAX 0569-24-7185
- E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは機読ソフトウェアの登録商標です。

半田市議会へ